

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月17日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	豊中市	代表者名	長内繁樹
担当者部署	創造改革課	連絡先電話番号	06-6858-2084
担当者役職	主査	担当者氏名	島田裕子
住所	5618501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	AMは管理職向けのDXセミナー、PMは一般職員向けのDXセミナーで、それぞれの気づきと意識変革につながる内容であった。
アドバイザーへの要望事項	管理職向けのグループワーク資料が、オンラインでは使いにくかった。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月5日	10時00分	16時30分	150	240
3-2. 派遣場所	会場名	豊中市役所		最寄駅	岡町駅
	所在地	豊中市中桜塚3-1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩5分
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	管理職、一般職	57人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	多くの職員にDX推進にあたっての意識を変革してもらい、新たな取り組みを行える風土としたい	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	「新たな価値創造と変革を実現できる」「データ活用によって課題解決できる」人材の育成、風土の醸成	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DXセミナー(なぜDXが進まないのか?サービスデザイン思考とは?リーダーとして必要なことは?データの必要性など)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ワークをとおして、グループで考えることで、一人ひとりが必要なこと、豊中市として必要なことを見える化できた データを活用し、仮説を立て、どのように検証していくのか、その必要性と流れを学ぶことができた 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	職員意識改革・気づきにつながった(別紙、写真のとおり)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	オンラインでのグループワークをスムーズに行うことが次年度に向けた課題となった	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・アンケート回収中	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	・「新たな価値創造と変革を実現できる」「データ活用によって課題解決できる」人材の育成、風土の醸成	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPG）」を次のページに数枚程度貼付けて下さい

